



2027年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2026年8月6日

上場会社名 富士フイルムホールディングス株式会社

上場取引所

東

コード番号 4901 URL <https://holdings.fujifilm.com/ja>

代表者（役職名）代表取締役社長・CEO（氏名）後藤 禎一

問合せ先責任者（役職名）コーポレートコミュニケーション部長（氏名）吉澤 ちさと TEL 03-6271-1111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満四捨五入）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	826,493	10.3	51,184	△32.0	52,100	△27.6	37,424	△30.4
2026年3月期第1四半期	749,482	0.1	75,291	21.1	71,954	0.3	53,767	△11.5

（注）四半期包括利益 2027年3月期第1四半期 88,782百万円（58.3％）2026年3月期第1四半期 56,081百万円（△72.4％）

	基本的1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	31.26	31.23
2026年3月期第1四半期	44.63	44.59

（2）連結財政状態

	総資産	資本合計（純資産）	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	6,167,301	3,903,549	3,898,484	63.2
2026年3月期	6,053,776	3,844,385	3,839,550	63.4

（注）資本合計（純資産）は、P.8の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		37.50	—	37.50	75.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年 3月期の連結業績予想（2026年 4月 1日～2027年 3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	
通期	3,560,000	6.0	365,000	4.2	375,000	2.3	280,000	1.2	円 銭 234.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

（注）「1株当たり当社株主に帰属する当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2026年6月30日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	1,234,150,284株	2026年3月期	1,243,877,184株
2027年3月期1Q	38,542,505株	2026年3月期	38,547,368株
2027年3月期1Q	1,195,821,475株	2026年3月期1Q	1,203,561,229株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)	経営成績に関する説明	P. 2
(2)	財政状態に関する説明	P. 4
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	P. 6
(1)	当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更	P. 6
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3)	会計方針の変更	P. 6
3.	継続企業の前提に関する重要事象等	P. 6
4.	四半期連結財務諸表	P. 7
(1)	四半期連結貸借対照表	P. 7
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
	（四半期連結損益計算書）	P. 9
	（四半期連結包括利益計算書）	P. 10
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
	（継続企業の前提に関する注記）	P. 12
	（セグメント情報）	P. 12
	（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P. 14
	（重要な後発事象）	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：億円)

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減額	増減率
国内売上高	30.7% 2,537	34.3% 2,569	△31	△1.2 %
海外売上高	69.3% 5,728	65.7% 4,926	802	16.3 %
売上高	100.0% 8,265	100.0% 7,495	770	10.3 %
営業利益	6.2% 512	10.0% 753	△241	△32.0 %
税金等調整前四半期純利益	6.3% 521	9.6% 720	△199	△27.6 %
当社株主帰属四半期純利益	4.5% 374	7.2% 538	△163	△30.4 %
為替レート (円/米\$)	159円	145円	14円	
為替レート (円/Euro)	185円	164円	21円	

当社グループの2027年3月期第1四半期における連結売上高は、メディカルシステム、半導体材料、イメージング等で売上が伸長し、8,265億円（前年同期比10.3%増）となりました。

営業利益は、エレクトロニクス及びイメージングで増益となるも、ヘルスケアにおけるバイオCDMOの固定費増加やビジネスイノベーションの体質強化を目的とした一時費用の発生その他、原材料高騰の影響等を受け、512億円（前年同期比32.0%減）となりました。税金等調整前四半期純利益は521億円（前年同期比27.6%減）、当社株主帰属四半期純利益は374億円（前年同期比30.4%減）となりました。当四半期の円為替レートは、対米ドルで159円、対ユーロで185円となりました。

【事業セグメント別の売上高】

(単位：億円)

セグメント	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減額	増減率
ヘルスケア	2,568	2,285	284	12.4%
エレクトロニクス	1,277	1,021	255	25.0%
ビジネスイノベーション	2,732	2,736	△3	△0.1%
イメージング	1,688	1,453	235	16.2%
連結合計	8,265	7,495	770	10.3%

【事業セグメント別の営業利益(△損失)】

(単位：億円)

セグメント	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減額	増減率
ヘルスケア	△127	43	△170	—
エレクトロニクス	311	225	86	38.2%
ビジネスイノベーション	△14	156	△170	—
イメージング	434	418	16	3.9%
全社費用等	△92	△88	△4	—
連結合計	512	753	△241	△32.0%

「ヘルスケア部門」

ヘルスケア部門の連結売上高は、2,568億円（前年同期比12.4%増）となりました。

当部門の営業損失は、127億円となりました。

メディカルシステム事業では、日本・米国・欧州をはじめとする主要市場で販売が好調に推移した内視鏡や、医用画像情報システム（PACS）「SYNAPSE」を中心としたシステム・サービス販売が日本・欧州等で好調に推移した医療ITの他、日本・欧州での販売が好調に推移した超音波診断機器等が牽引し、売上が増加しました。2026年4月には、PACSの新たなラインアップとして、クラウド型医用画像情報システム「SYNAPSE LEAD Cloud（シナプス リード クラウド）」を発売、2026年6月には、LED光源搭載内視鏡システム「ELUXEO（エルクセオ）」用の消化管用拡大スコープの新ラインアップとして、上部消化管用拡大スコープ「EG-860Z」、下部消化管用拡大スコープ「EC-860ZP/M」、「EC-860ZP/L」を発売しました。当社は、今後も独自技術を生かし、さまざまな医療現場のニーズに応える幅広い製品・サービスの提供を通じて、さらなる診断の効率化と医療の質の向上、人々の健康の維持・増進に貢献していきます。

バイオCDMO事業では、前年度に開所した米国ノースカロライナ拠点の大型製造設備の稼働拡大が寄与し、売上が増加しました。2026年6月には、バイオ医薬品製造の培養・精製工程をリアルタイムで可視化する「インラインラマン高感度計測システム」の株式会社堀場製作所との共同開発を発表しました。今後、実装検証を進めていくとともに、製造プロセスの可視化と高度なデータ分析技術の確立を通じ、抗体医薬品をはじめとする高品質なバイオ医薬品の安定製造、及び製造コスト低減に貢献していきます。

LS（ライフサイエンス）ソリューション事業^{*1}では、ライフサイエンス事業において、大手製薬会社の当社培地使用量増加による培地の販売伸長に加え、旺盛な創薬ニーズを受け創薬支援向けのiPS細胞由来分化細胞「iCell」の販売が好調に推移したことや、コンシューマーヘルスケア事業において、化粧品の販売が好調に推移したこと等により売上が増加しました。2026年5月には、iPS細胞の開発・製造のリーディングカンパニーであるFUJIFILM Cellular Dynamics, Inc.の米国ウィスコンシン州新本社拠点を開設しました。これにより、創薬支援用iPS細胞由来分化細胞の製造能力を大幅に強化するほか、同分野の研究開発や細胞治療薬のプロセス開発に対応する最先端のラボ設備を整備し、開発初期段階からお客様を支援していきます。また、同年5月には、再生医療等製品「セイビスカス[®]注」の日本国内における製造販売承認を取得しました。同製品は「半月板切除術が適応となる半月板損傷」を適応症とし、国内初^{*2}となる半月板損傷に対する再生医療等製品です。当社は、本製品を通じて半月板損傷に対する新たな治療選択肢を患者さまにお届けするとともに、予防から診断、治療にいたる整形外科領域のソリューションを通じて、人々の健康維持・増進に貢献していきます。

^{*1} ライフサイエンス事業・医薬品事業・コンシューマーヘルスケア事業・CRO事業から構成

^{*2} 医薬品医療機器等法（薬機法）に基づき製造販売承認を取得した再生医療等製品として国内初

「エレクトロニクス部門」

エレクトロニクス部門の連結売上高は1,277億円（前年同期比25.0%増）となりました。

当部門の営業利益は、311億円（前年同期比38.2%増）となりました。

半導体市場は、半導体がスマートフォンやパソコン、自動車や家電製品等多くの製品に使われてきたことに加え、現在はAI半導体の需要増加により市場が大きく成長しています。当社半導体材料事業は、AI半導体向けの先端材料需要を着実に取り込むことで、前年度は市場平均を大きく上回る成長を実現しており、当年度においても、大手ファウンドリー向け販売が好調を継続し、米国や韓国の大手半導体メーカー向け販売も回復したことで、売上が大幅に増加しました。製品別では、世界トップシェアの銅配線用CMPスラリー、同じく世界トップシェアのNTI現像液、及び先端レジストについて、微細化と配線層の積層数増加に伴い、販売が伸長しました。後工程材料分野でも、AI半導体向け先端パッケージングの需要拡大に伴い、チップ間接続に使用される層間絶縁膜用の液型ポリイミドの販売が伸長しました。2026年5月には、半導体パッケージング関連技術の国際カンファレンス「ECTC 2026」に出展しました。AI半導体の進化のための次世代パッケージングの微細化実現に向けて、先端半導体の国際研究機関imecとの共同研究成果を発表したことに加え、新たにPFASフリーの絶縁膜材料PBO（ポリベンゾオキサゾール）を開発し、これにより感光性絶縁膜材料「ZEMATES」の全材料でPFASフリーを実現したことを発表しました。

AF（アドバンストファンクショナル）材料事業は、AIの普及に伴うデータ量増大を背景に、大手IT企業向けのデータテープの販売が好調に推移したこと等により、売上が増加しました。2026年6月には、圧力測定フィルム「プレスケール」の新ラインアップとして、半導体製造工程における圧力検査向けに、ウェハー形状に合わせた円形タイプ「円形プレスケール」を発売しました。当社は、開発・製造現場における検査業務の効率化を実現する製品の開発・提供を通じて、お客さまの製造品質の向上・安定化に貢献していきます。

「ビジネスイノベーション部門」

ビジネスイノベーション部門の連結売上高は、2,732億円（前年同期比0.1%減）となりました。

当部門の営業損失は、14億円となりました。

ビジネスソリューション事業では、前年同期の海外におけるBPOサービス特需の反動等があるも、海外における基幹システム販売・導入支援事業が好調に推移したこと等により、売上が増加しました。2026年5月には、AIをはじめとするデジタル技術を起点としたAI技術ブランド「REiLI Business」の展開を開始するとともに、その実装・価値創出の拠点として横浜みなとみらいに「REiLI Business Hub」を開設しました。同拠点では「ビジネスの現場に寄り添った価値創造」を実現することを目的に、お客様のAI実装をより迅速かつ確実に進めるため、技術開発、商品企画、実装を担う専門人材が連携し、アイデア創出から検証、商品・サービス化に至るまでの一連のプロセスを推進することで、価値創出のサイクルを高速化していきます。

オフィスソリューション事業では、欧米向け輸出や中国向けの販売減少等により、売上が減少しました。

グラフィックコミュニケーション事業では、インクジェット分野におけるインクジェットヘッドの販売伸長等により、売上が増加しました。2026年6月には、インドに高付加価値印刷の検証・人材育成を担う新拠点「Revoria Experience Center」の開設を発表しました。多様な用紙への対応や特殊トナーを活用した付加価値の高い印刷物の実現に向けた出力検証、及びオペレーターやデザイナーの人材育成を通じて、成長するインドの印刷市場におけるお客様のビジネス拡大と生産性向上に貢献していきます。

「イメージング部門」

イメージング部門の連結売上高は、1,688億円（前年同期比16.2%増）となりました。

当部門の営業利益は、434億円（前年同期比3.9%増）となりました。

コンシューマーイメージング事業では、インスタントフォトシステム「instax」の販売伸長により売上が増加しました。2021年の発売から人気が続く「instax mini Evo」や、今期新色JET BLACKを加えた「instax WIDE 400」等の中高価格帯の製品の販売が好調に推移したことに加え、生産設備の増強によりフィルムの販売も伸長しています。2026年4月には、デザイン・機能ともに進化させたアナログインスタントカメラのエントリーモデル「instax mini 13」を発売し、グローバルで好評をいただいています。今後も、撮影したその場でプリントを楽しめる「instax」の魅力を広げるとともに、写真の価値と楽しさを伝えていきます。

プロフェッショナルイメージング事業では、需要が旺盛なアジアを中心にデジタルカメラの販売が伸長し、売上が増加しました。前年度発売の「FUJIFILM X-E5」や「FUJIFILM X-T30 III」等の主力機種に加え、高い人気を維持しているロングセラーモデル「FUJIFILM X100VI」も販売が好調に推移しました。今後も「GFX シリーズ」ではラージフォーマットによる圧倒的高画質を、「X シリーズ」では画質とサイズのベストバランスを実現することに加えて、「FUJIFILM GFX100RF」や「X half」、「FUJIFILM GFX ETERNA 55」のような新しいコンセプトのカメラを生み出すことで、デジタルカメラユーザーや映像業界に魅力的な製品を提供していきます。

(2) 財政状態に関する説明

2027年3月期第1四半期末は、有形固定資産、棚卸資産の増加等により、前期末（2026年3月31日）に比べ、資産が1,135億円増の6兆1,673億円となりました。負債は544億円増の2兆2,638億円となりました。株主資本は589億円増の3兆8,985億円となりました。流動比率は前期末に比べ0.2ポイント増の136.8%、負債比率は0.6ポイント増の58.1%、株主資本比率は0.2ポイント減の63.2%となりましたが、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

【キャッシュ・フローの状況】

（単位：億円）

	2027年3月期 第1四半期	2026年3月期 第1四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	923	948	△25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,249	△1,200	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	63	201	△138

2027年3月期第1四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、923億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の購入等により、1,249億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、△326億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、長期債務による調達等により、63億円の収入となりました。

現金及び現金同等物の2027年3月期第1四半期末残高は、前期末(2026年3月31日)に比べ199億円減少し、1,507億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
(2027年3月期の連結業績予想)

(単位：億円)

	前回発表予想(A) (2026年5月12日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考)前期実績 (2026年3月期)
売上高	34,700	35,600	900	2.6%	33,570
営業利益	3,650	3,650	—	—	3,502
税金等調整前 当期純利益	3,750	3,750	—	—	3,666
当社株主帰属 当期純利益	2,800	2,800	—	—	2,767
一株当たり 当社株主帰属 当期純利益	234.19円	234.19円	— 円	—	229.65円
ROE (%)	7.8	7.8	—	—	7.7
ROIC (%)	5.6	5.6	—	—	5.5
為替レート (円/米\$)	150円	156円	6円	—	151円
為替レート (円/Euro)	175円	181円	6円	—	175円

2027年3月期業績は、為替影響に加え、エレクトロニクスの販売好調等を反映し、連結売上高を3兆5,600億円（前回比2.6%増）に上方修正します。営業利益は、エレクトロニクスの販売増や、ビジネスイノベーションの非中核資産売却益の増加を見込む一方、バイオCDMOの収益立ち上げ遅れや、半導体メモリー価格高騰影響等を織り込み、前回予想の3,650億円から変更ありません。税金等調整前当期純利益は3,750億円、当社株主帰属当期純利益は2,800億円を予想しております。

通期での対米ドル円為替レートを156円、対ユーロ円為替レートを181円で想定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別 2027年3月期第1四半期 連結会計期間末 2026年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2026年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]			
流動資産			
現金及び現金同等物	150,651	170,553	△19,902
受取債権			
営業債権	686,793	742,721	△55,928
リース債権	31,479	31,750	△271
関連会社等に対する債権	1,829	2,737	△908
信用損失引当金	△13,624	△14,693	1,069
	706,477	762,515	△56,038
棚卸資産	667,065	600,796	66,269
前払費用及びその他の流動資産	195,584	185,169	10,415
流動資産 合計	1,719,777	1,719,033	744
投資及び長期債権			
関連会社等に対する投資及び貸付金	37,555	37,617	△62
投資有価証券	45,026	43,672	1,354
長期リース債権	48,636	49,181	△545
その他の長期債権	77,013	76,831	182
信用損失引当金	△1,455	△1,511	56
投資及び長期債権 合計	206,775	205,790	985
有形固定資産			
土地	121,864	121,419	445
建物及び構築物	1,208,813	1,173,654	35,159
機械装置及びその他の有形固定資産	2,134,308	1,989,906	144,402
建設仮勘定	914,292	979,735	△65,443
	4,379,277	4,264,714	114,563
減価償却累計額	△1,982,394	△1,956,406	△25,988
有形固定資産 合計	2,396,883	2,308,308	88,575
その他の資産			
オペレーティング・リース使用权資産	133,238	130,157	3,081
営業権	1,006,314	997,068	9,246
その他の無形固定資産	148,998	151,175	△2,177
その他	555,316	542,245	13,071
その他の資産 合計	1,843,866	1,820,645	23,221
資産 合計	6,167,301	6,053,776	113,525

単位 百万円

期別 科目	2027年3月期第1四半期 連結会計期間末 2026年6月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 2026年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]			
流動負債			
社債及び短期借入金	307,269	287,913	19,356
支払債務			
営業債務	314,656	291,296	23,360
設備関係債務	82,487	97,154	△14,667
関連会社等に対する債務	1,336	1,399	△63
	398,479	389,849	8,630
未払法人税等	33,333	53,202	△19,869
未払費用	291,609	280,017	11,592
短期オペレーティング・リース負債	37,944	36,549	1,395
その他の流動負債	188,789	210,742	△21,953
流動負債 合計	1,257,423	1,258,272	△849
固定負債			
社債及び長期借入金	668,333	607,034	61,299
退職給付引当金	24,909	25,515	△606
長期オペレーティング・リース負債	96,817	95,517	1,300
その他の固定負債	216,270	223,053	△6,783
固定負債 合計	1,006,329	951,119	55,210
負債 合計	2,263,752	2,209,391	54,361
[純資産の部]			
株主資本			
資本金	40,363	40,363	—
普通株式			
発行可能株式総数 2,400,000,000株			
発行済株式総数 1,234,150,284株			
利益剰余金	3,138,207	3,117,407	20,800
その他の包括利益累積額	787,288	736,167	51,121
自己株式	△67,374	△54,387	△12,987
株主資本 合計	3,898,484	3,839,550	58,934
非支配持分	5,065	4,835	230
純資産 合計	3,903,549	3,844,385	59,164
負債・純資産 合計	6,167,301	6,053,776	113,525

(注)その他の包括利益累積額 内訳

	2026年6月30日現在	2026年3月31日現在	増減 (△は減少)
為替換算調整額	744,556	694,154	50,402
年金負債調整額	42,732	42,013	719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

単位 百万円

科目	期別	2027年3月期第1四半期 自 2026年 4月 1日 至 2026年 6月 30日		2026年3月期第1四半期 自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月 30日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
		%		%			%
売上高		100.0	826,493	100.0	749,482	77,011	10.3
売上原価		60.9	503,075	58.3	436,911	66,164	15.1
売上総利益		39.1	323,418	41.7	312,571	10,847	3.5
営業費用							
販売費及び一般管理費		27.8	229,949	26.2	196,643	33,306	16.9
研究開発費		5.1	42,285	5.4	40,637	1,648	4.1
営業利益		32.9	272,234	31.7	237,280	34,954	14.7
		6.2	51,184	10.0	75,291	△24,107	△32.0
営業外収益及び費用(△)							
受取利息及び配当金			3,104		3,112	△8	
支払利息			△1,859		△2,453	594	
為替差損益・純額			△495		△5,984	5,489	
持分証券に関する損益・純額			1,978		△659	2,637	
その他損益・純額			△1,812		2,647	△4,459	
		0.1	916	△0.4	△3,337	4,253	—
税金等調整前四半期純利益		6.3	52,100	9.6	71,954	△19,854	△27.6
法人税等		1.8	15,154	2.8	20,829	△5,675	△27.2
持分法による投資損益		0.1	630	0.4	2,698	△2,068	△76.6
四半期純利益		4.5	37,576	7.2	53,823	△16,247	△30.2
控除:非支配持分帰属損益		0.0	△152	0.0	△56	△96	—
当社株主帰属四半期純利益		4.5	37,424	7.2	53,767	△16,343	△30.4

(四半期連結包括利益計算書)

単位 百万円

科目	期別 2027年3月期第1四半期 自 2026年 4月 1日 至 2026年 6月30日	2026年3月期第1四半期 自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月30日	増減 (△は減少)
四半期純利益	37,576	53,823	△16,247
その他の包括利益(△損失) ー税効果調整後			
為替換算調整額	50,487	2,429	48,058
年金負債調整額	719	△211	930
デリバティブ未実現損益	ー	40	△40
合計	51,206	2,258	48,948
四半期包括利益	88,782	56,081	32,701
控除:非支配持分帰属四半期包括損益	△237	△128	△109
当社株主帰属四半期包括利益	88,545	55,953	32,592

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別 2027年3月期第1四半期 自 2026年 4月 1日 至 2026年 6月30日	2026年3月期第1四半期 自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月30日	増減 (△は減少)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 四半期純利益	37,576	53,823	△16,247
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整			
(1) 減価償却費	50,422	40,853	9,569
(2) 持分証券に関する損益	△1,978	659	△2,637
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)	△152	△2,493	2,341
(4) 資産及び負債の増減			
受取債権の減少	63,235	60,162	3,073
棚卸資産の増加(△)	△60,021	△52,280	△7,741
営業債務の増加	20,724	2,921	17,803
前払費用及びその他の流動資産の増加(△)	△8,203	△13,129	4,926
未払法人税等及びその他負債の増加・減少(△)	△5,565	4,916	△10,481
(5) その他	△3,745	△674	△3,071
小計	54,717	40,935	13,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	92,293	94,758	△2,465
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の購入	△107,794	△119,998	12,204
2. ソフトウェアの購入	△9,765	△9,993	228
3. 有形固定資産の売却	1,686	—	1,686
4. 投資有価証券の売却及び満期償還	786	2,365	△1,579
5. 投資有価証券の購入	△314	△595	281
6. 定期預金の増加(純額)	△1,978	△1,350	△628
7. 関係会社投融資及びその他貸付金の増加	—	△81	81
8. 事業の買収	—	△1,183	1,183
(買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)			
9. 事業の売却	—	6,926	△6,926
(処分した現金及び現金同等物控除後)			
10. その他	△7,522	3,926	△11,448
投資活動によるキャッシュ・フロー	△124,901	△119,983	△4,918
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 長期債務による調達額	100,000	100,000	0
2. 長期債務の返済額	△689	△40,616	39,927
3. 満期日が3ヵ月以内の短期債務の増加・減少(△)(純額)	△20,816	2,796	△23,612
4. 親会社による配当金支払額	△42,187	△42,170	△17
5. 非支配持分への配当金支払額	△7	△89	82
6. 自己株式の取得及び売却	△30,002	△2	△30,000
7. 非支配持分との資本取引	—	141	△141
8. その他	3	17	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,302	20,077	△13,775
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響	6,404	△6,991	13,395
V. 現金及び現金同等物純減少	△19,902	△12,139	△7,763
VI. 現金及び現金同等物期首残高	170,553	172,111	△1,558
VII. 現金及び現金同等物期末残高	150,651	159,972	△9,321

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

①事業別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	2027年3月期第1四半期 自 2026年 4月 1日 至 2026年 6月30日		2026年3月期第1四半期 自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月30日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
売上高 :	構成比 (%)			構成比 (%)			%
ヘルスケア	31.1	256,824		30.5	228,471	28,353	12.4
エレクトロニクス	15.4	127,650		13.6	102,140	25,510	25.0
ビジネスイノベーション	33.1	273,243		36.5	273,563	△320	△0.1
イメージング	20.4	168,776		19.4	145,308	23,468	16.2
連結 合計	100.0	826,493		100.0	749,482	77,011	10.3

【費用】

単位 百万円

科目	期別	2027年3月期第1四半期 自 2026年 4月 1日 至 2026年 6月30日		2026年3月期第1四半期 自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月30日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
研究開発費 :							%
ヘルスケア		13,757		14,757		△1,000	△6.8
エレクトロニクス		8,079		7,022		1,057	15.1
ビジネスイノベーション		14,998		13,953		1,045	7.5
イメージング		4,264		3,010		1,254	41.7
計		41,098		38,742		2,356	6.1
全社		1,187		1,895		△708	△37.4
連結 合計		42,285		40,637		1,648	4.1
その他営業費用 :							
ヘルスケア		255,744		209,436		46,308	22.1
エレクトロニクス		88,443		72,595		15,848	21.8
ビジネスイノベーション		259,690		244,041		15,649	6.4
イメージング		121,119		100,529		20,590	20.5
計		724,996		626,601		98,395	15.7
全社		8,028		6,953		1,075	15.5
連結 合計		733,024		633,554		99,470	15.7

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	2027年3月期第1四半期 自 2026年 4月 1日 至 2026年 6月30日		2026年3月期第1四半期 自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月30日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
営業利益(△損失) :	利益率 (%)			利益率 (%)			%
ヘルスケア	△4.9	△12,677		1.9	4,278	△16,955	—
エレクトロニクス	24.4	31,128		22.1	22,523	8,605	38.2
ビジネスイノベーション	△0.5	△1,445		5.7	15,569	△17,014	—
イメージング	25.7	43,393		28.7	41,769	1,624	3.9
計		60,399		84,139		△23,740	△28.2
全社費用等		△9,215		△8,848		△367	—
連結 合計	6.2	51,184		75,291		△24,107	△32.0

(注)各区分に属する主要な製品の名称

ヘルスケア :	メディカルシステム機材、バイオ医薬品製造開発受託、 細胞・培地・試薬等の創薬支援材料、医薬品、化粧品・サプリメント等
エレクトロニクス :	半導体材料、ディスプレイ材料、産業機材、ファインケミカル等
ビジネスイノベーション :	ソリューション・サービス、デジタル複合機、 グラフィックコミュニケーションシステム機材、インクジェット機材等
イメージング :	インスタントフォトシステム、カラーフィルム、 写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、デジタルカメラ、光学デバイス等

【総資産】

単位 百万円

科目	期別 2027年3月期 2026年6月30日現在残高	2026年3月期 2026年3月31日現在残高	増減 (△は減少)	
			増減額	増減率
総資産 :				%
ヘルスケア	3,300,741	3,227,034	73,707	2.3
エレクトロニクス	826,360	821,265	5,095	0.6
ビジネスイノベーション	1,440,496	1,469,229	△28,733	△2.0
イメージング	477,057	423,126	53,931	12.7
計	6,044,654	5,940,654	104,000	1.8
全社	122,647	113,122	9,525	8.4
連結 合計	6,167,301	6,053,776	113,525	1.9

【減価償却・設備投資】

単位 百万円

科目	期別 2027年3月期第1四半期 自 2026年 4月 1日 至 2026年 6月30日	2026年3月期第1四半期 自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月30日	増減 (△は減少)	
			増減額	増減率
減価償却費 :				%
ヘルスケア	24,027	17,178	6,849	39.9
エレクトロニクス	7,738	7,346	392	5.3
ビジネスイノベーション	12,664	11,516	1,148	10.0
イメージング	4,802	3,708	1,094	29.5
全社	1,191	1,105	86	7.8
連結 合計	50,422	40,853	9,569	23.4
設備投資額 :				
ヘルスケア	82,928	109,104	△26,176	△24.0
エレクトロニクス	5,863	5,006	857	17.1
ビジネスイノベーション	12,973	12,417	556	4.5
イメージング	7,282	2,956	4,326	146.3
全社	2,134	939	1,195	127.3
連結 合計	111,180	130,422	△19,242	△14.8

②所在地別セグメント情報
【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別	2027年3月期第1四半期 自 2026年 4月 1日 至 2026年 6月30日		2026年3月期第1四半期 自 2025年 4月 1日 至 2025年 6月30日		増減 (△は減少)	
						増減額	増減率
売上高 :		構成比 (%)		構成比 (%)			%
国内		30.7	253,728	34.3	256,872	△3,144	△1.2
海外 :							
米州		21.2	175,266	20.7	155,321	19,945	12.8
欧州		18.0	148,443	16.6	124,559	23,884	19.2
アジア及びその他		30.1	249,056	28.4	212,730	36,326	17.1
計		69.3	572,765	65.7	492,610	80,155	16.3
連結 合計		100.0	826,493	100.0	749,482	77,011	10.3

(注) 【海外売上高(仕向地ベース)】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。